

# 1 「人材の確保・定着」に向けて

## ◎地域医療支援センターの設置

山梨大学と連携して、地域の医療機関で働く医師のキャリア形成支援などを進めています。医師不足の病院などで働く医師を確保していくための活動拠点ともなります。



4月1日に山梨大学内に開設した地域医療支援センター

## ◎産科医の確保・育成

県内で分娩を取り扱っている七つの病院全てが連携して、不足している産科医を確保するための取り組みを進めています。後期臨床研修プログラムの作成や研修医向けセミナーの開催などを行っています。

## ◎就業看護師の研修体制整備

県立大学に看護実践研究開発センターを整備し、看護職員の臨床能力の習得や、認定看護師の育成などを進めています。

# 2 「医療機関の機能充実」に向けて

## ◎通院加療がんセンターの整備

抗がん剤の進歩により治癒率が向上する中、通院しながら抗がん剤治療を行う患者さんを支援するため県立中央病院内に整備しました。外来診療ベッドを32床確保し、専任スタッフも充実させています。

## ◎救急医療拠点の整備

甲府市を中心とする地域の初期救急を担う拠点施設を、甲府市医療福祉会館敷地内に整備しています。また、東部地域における二次救急の拠点となる病棟を、大月市立中央病院に整備しています。

## ◎富士・東部口腔保健センターの整備

休日の歯科救急診療などを行うために整備しました。指定日には予約制で障害者(児)を対象とする歯科診療や食べ方、飲み込み方の相談・指導なども行っています。



4月4日に都留市立病院敷地内で診療を開始した富士・東部口腔保健センター

# 3 「医療機関の連携強化」に向けて

## ◎峡南北部地域の医療連携推進

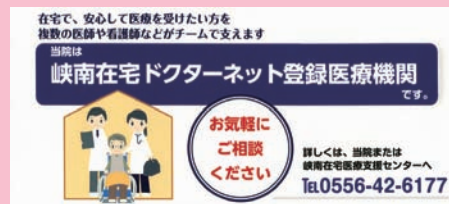
地域内で完結する医療提供体制を整備するため、疾病段階に応じた病院間の役割分担と高度な医療連携を進めています。市川三郷町立病院と社会保険齋沢病院は、経営統合により、平成26年4月に「峡南医療センター」として生まれ変わります。

## ◎峡南在宅ドクターネットの構築

在宅患者やその家族を支えるためのネットワークを構築し、複数の医師や歯科医師などが連携して患者を受け持っています。さらに福祉や介護関係者とも連携して、患者と家族の希望や状況に応じた支援を行っています。

## ◎災害時の透析医療確保

透析医療を提供する県内全ての医療機関に、衛星携帯電話を設置しています。これにより、被災時における患者の受け入れや人的・物的資源の融通などが円滑にできるようになりました。



登録医療機関内に貼られている峡南在宅ドクターネットのステッカー

# 山梨の地域医療 健康で安心して暮らせる社会の実現へ

全国的な医師不足の中、急に具合が悪くなったときや、がんなどの重い病気にかかってしまったときなどに適切な医療が受けられる体制の整備が求められています。

県では、県民の皆さんが地域で安心して暮らしていけるよう、市町村や医療関係団体などと連携しながら、さまざまな取り組みを進めています。人材の確保・定着、医療機関の機能充実、医療機関同士の連携強化といった医療課題の解決策は徐々に成果を挙げてきています。今回は、その取り組みの一端を紹介しします。



## 医療課題の解決策 三つの方向性

### 1 人材の確保・定着

地域医療の課題は、その多くが医師や看護師などの医療従事者不足に起因しています。そのため、これらの人材の確保・定着を図る取り組みを進めています。

### 2 医療機関の機能充実

疾病の段階は、風邪や腹痛などの一般的な病気から、特殊で高度・専門的な医療が必要な病気まで、さまざまです。こうした疾病の段階に応じて必要な医療が受けられるよう、地域の病院や診療所など、医療機関の機能充実を図っています。

### 3 医療機関の連携強化

地域全体として、より満足いく医療が受けられるよう、医療機関同士の連携を強化する取り組みを進めています。

